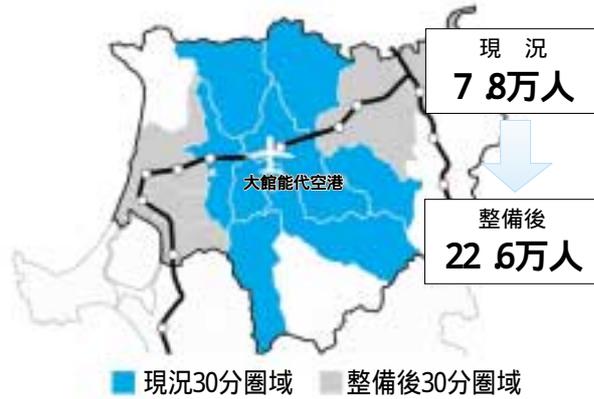


地域活性化の源・日沿道延伸!!

その3
大館能代空港の30分圏域が拡大します!

・現況では30分圏域に約8万人が住んでいます。整備後には約23万人が30分圏域となります。



その4
3次救急医療施設の60分圏域が拡大します!

・東北地域における第3次救急医療サービスは、秋田市が弘前市に立地している病院に委ねられており、現在は8万人しか60分圏域に入っていません。整備後には19万人増加され、ほぼ東北

地区全域の27万人が60分圏域に入ります。急激な高齢化が進む中で、安全・安心な地域づくり、日沿道は貢献します。

その5
市街地の渋滞が緩和されます!

・市街地を通過する交通が日沿道に転換され、一般国道7号や103号、285号の交通量が減少し、交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。



国道7号川口交差点付近の渋滞

その6
観光資源の広域連携が促進されます!

・十和田湖、白神山地など、豊富な観光資源を持つ北東北において、観光周遊ルートの確立など、広域的な観光振興に大きく役立つ。

ちます。

・高速道路と空港の利用により、北東北の主要な観光地が、首都圏から1泊2日でほぼカバーできるようになります。



その7
広域物流の代替ルートが確保されます!

・東北自動車道や一般国道7号が、



災害や事故などで通行止めとなった際には、日沿道経由のルートが確保されます。地域間・広域物流を支える代替路線として機能します。

その8
リサイクル物流の拠点づくりが支援されます!

・東北地域では、大館・小坂の鋳山技術と施設を活用した「リサイクル拠点」としての地域づくりが進められています。大館市では、廃家電リサイクルや土壌洗浄、小坂町では携帯電話や廃自動車のリサイクルが進められています。これらに対して、日沿道により、能代港、大館、小坂といった物流の速達性・安定性が確保されます。



今回の特集には、国土交通省能代河川国道事務所と日本道路公団秋田工事事務所から資料提供いただきました。